

トップ面談、「利用意思なし」の真相？

市長、「お貸しはできませんが、利用されますか！」

鳥大医、「いや、お借りができないものは、利用できません！」

鳥大医が球場敷地の「利用意思なし」と市長に伝えた背景に、このような「立場」の隔たりはなかったのか！

それとも、双方に「何かの」付度が働いたのか！

鳥大医は、米子市の生命線。真相が待たれる！

「協議機関」

協議実らず

市と鳥大医に設置した「協議機関」(円満な)は、過去三回の協議が開かれている。

市は協議の場でも立場を変えず、関連法の縛り(法の壁)の説明に終始し、鳥大医の「要望」を叶える真摯な協議の痕跡を残していない。

市は、この協議で鳥大医の「再開発」は、「向う五力年間はない」という確認が取れたと記録に綴っている。

これが、トップ面談の「利用意思なし」と関わりがあれば、「史跡公園計画」を推進する市長は、根底から「計画」の練り直しを迫られる。

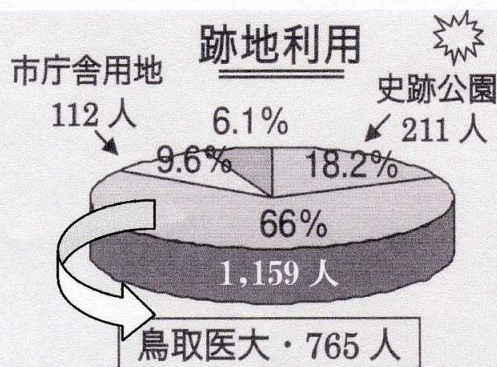
市政に民意の反映を！

地方創世の明&暗！

次世代と地方創世のまちづくりを描く、市の施策を比較？

今治市・獣医学部誘致に36億円の用地譲渡に、県と市の補助金96億円を用意。

米子市・民有地買上げに、文化財補助金を充当し、鳥大医に球場敷地を拒む。



民有地4ヶ所の買上げと「史跡公園計画(案)」を斬る！

なぜ市は、城跡(しろあと)四ヶ所の民有地買上げ(公有化)に固執するのか。

文化財の価値は、民有地でも変わらない。

「史跡公園計画」の総事業費10億円の内、民有地の買上げと補償費、6億円余。

四ヶ所の土地所有は、同一地権者？

出山(計画)

海岸に突き出た小高い丘に、(東屋、ベンチの設置)。眺望は、民有地の力で可能。

深浦(計画)

城の遺構が破壊された「地形保存」に(東屋・ベンチ・車寄せの計画)

スポーツ施設撤去の代償に、市税4億円超の支払いはムダ使い。

鳥大医

城跡とは、内堀の内側



球場敷地(計画)

市教委は、球場敷地の「文化的価値を下げない」ために、球場敷地は「市街化されずに残っている」と虚偽の史実を表現し、史跡公園を企てている。

2.6haの土地資源を芝と樹木で覆い(東屋・ベンチ・トイレ・車寄せ・ガイダンスの計画)に、中心市街地の賑わいも、「まち」・「ひと」・「しごと」の地方創世の展望も描けない。遺構は、内堀の石垣が眠る！

民地の買上げ計画

民有地買上げの最大の目玉4億円超

飯山(計画)
史跡に、英霊
塔は不合理。